



二〇〇六年の輝かしい新春を迎え、町民の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は町政運営に議会並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜り、計画されている諸施策や事業が順調に推移していることに対し、心より感謝申し上げます。今、世界や日本の情勢は大変混沌とした状況にあります。日本においては全国各地市町村が国の三位一体改革により厳しい財政運営を迫られており、笠松町も例外ではなく合併問題においては単独の町政運営となりました。そして、いかに町単独で持続できる行財政体質にするかを最重要課題に掲げ、昨年二月に策定いたしました「笠松町行財政改革推進プラン」のもと、行財政改革に積極的に取り組んでいるところであります。

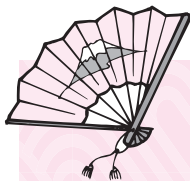
メリハリのある施策の具現化を目指して

その結果、資源ごみ集団回収モデル地区を始め、地域住民の皆さんによる防災訓練の実施、また、職員人件費の削減、民間委託の一部廃止、公共施設や用地の見直しなどにより住民協働による行財政改革は着々と実を結びつつあります。しかし、笠松町の今後の健全な行財政運営を推進するにあたりましては、笠松競馬場の存廃、岐阜羽鳥衛生施設組合ごみ処理施設十二年間問題等大きな影響を与える事務事業も山積していることから、社会情勢の変化を見極めながらより踏み込んだ行財政改革を更に進め、「選択と集中」によりメリハリのある施策の具現化を目指すとともに、地方分権の時代にふさわしい自らの発想で独自の町政を町民の皆さんとともに進めてまいりたいと考えています。

終わりに、新たに迎える二〇〇六年は町民の皆様のを笠松町発展のために賜りますようお願い申し上げます。今後ますますのご健勝とご繁栄を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

笠松町長

広江 正明



平成18年元旦

新年のあいさつ

あけましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、町議会を代表してごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、日ごろから町政発展並びに議会運営諸般にわたり格別なるご支援、ご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

わが国の社会経済情勢は、バブル経済崩壊以降の長期景気低迷からやや回復傾向にあると言われているものの、まだまだ先行き不透明であります。国においては、地方分権型社会の構築に向け、三位一体改革、年金改革、社会保障改革など各分野において構造改革が推進され、あらゆる面において転換期を迎えております。

こうした中、地方自治体を取り巻く状況も、年々厳しくなる財政事情と急速に進む少子・高齢化などを背景に、行財政改革を始めとする重要な課題が山積

未来に希望の持てるまちづくり

しており、誠に厳しい状況であります。このような時こそ、町政に携わる者が一丸となって英知を結集し、効率的な行財政運営によって、住民生活の安定向上のための施策を充実させていく必要があると認識いたしております。

我々議会といたしましても、行財政改革を強力に押し進め、未来に希望の持てるまちづくりが展開できるよう、引き続き、町民の皆様の声をしっかり受け止め、社会の変化に伴い、複雑、多様化する住民ニーズを的確に把握し、その声を町政に反映させていくとともに、より開かれた町議会を目指して、勇気と情熱、創意と工夫をもってさらなる努力を重ね、皆様の負託に応えるよう決意を新たにいたしております。

どうか、本年も議会活動に對しまして、暖かいご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしました。新年のごあいさつといたします。

笠松町議会議長

船橋 義明